

『心を込めて聴く・話す』

藤枝市立高洲中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	第1ステージ「共生と出会い」 ・学級開き、学年開き ・1年生を迎える会（放送） ・縦割り活動 (Tアップ・サポート)、 歌声サポート &上級生へのお礼のメッセージ	①学級指導の時間を活用して、人間関係作りプログラムを通して、ピア・サポートのスキルアップトレーニング。 ・WANTED=この人を探せ ・サインBINGO……など	○年度初めに藤枝型ピア・サポートについての説明を全職員対象に行う。
5月	・結団式 ・体育祭 ・ピア・ランチ	②年間を通して、全校生徒が特別支援学級との交流を通してピア・サポートの意識を高めていく。(ピア・ランチ)	・ピア・サポートの捉え方。 ○『心を込めて聴く・話す』を中心とした教育活動を、年間を通じて展開する。
6月	第2ステージ「挑戦と躍動」 ・縦割り活動	<u>4・5月</u> ・コミュニケーションスキルの基礎・基本を学ぶ。	○『心を込めて聴く・話す』を中心とした教育活動を、年間を通じて展開する。
7月	・ピア・ランチ	<u>6・7月</u> ・聴く：友達の話を正確に復唱できるように聴く。 ・話す：結論→理由を意識して話す。	・「話す・聴く」のコミュニケーションスキルのねらいや内容を年度当初に確認し、生徒の活動の様子を共有していく。
8月	第3ステージ「共生と文化」 ・縦割り活動	<u>9・10月</u> ・聴く：友達の考えと自分の考えを比べながら聴く。 ・話す：聞き手のつぶやきや表情を読み取って話す。	・授業や部活動の中でピア・サポート活動を推進していく。
9月	(交歓合唱) メッセージの交換	<u>11・12月</u> ・聴く：相手がなぜそう思ったのかを考えながら聴く。 ・話す：自分の意見の根拠をわかりやすく話す。	○校内研修会で伝達講習を行う。
10月	・合唱祭 ・学年行事 3年・・・修学旅行 2年・・・地域探訪 1年・・・職場訪問 ・ピア・ランチ	<u>1・2・3月</u> ・聴く：話す人の立場や思いに寄り添って聴く。 ・話す：聞き手の反応を確かめながら話す。	
11月	第4ステージ「自立と学習充実」 ・学習サポート		
12月	・小中合同あいさつ運動 ・ピア・ランチ		
1月	第5ステージ「感謝と旅立ち」 ・(縦割り活動 メッセージの交換)		
2月	・ピア・ランチ ・新入生説明会		
3月	(中1と小6の交流) ・(3年生を送る会)		

1 本校のピア・サポート

ピア・サポート活動は、相手を思いやり、相手の立場に立ちながら人間関係を築いていく活動である。高洲中学校では、その中でも特に、特別活動行事部で取り組んでいる縦割りの関わりを中心として取り組んでいくこととした。

年度当初に組む縦割りの団を活用した関わりの中で、上級生は下級生を思いやり、責任を持って教えリードし、下級生はそういう先輩の姿を見て、あこがれを抱き、上級生を目標に努力していく、そうしたお互いの姿が集団の向上に働き、『心を込めて聴く・話す』姿につながっていくと考えた

2 特徴的な活動

【縦割り集団を活用した、上級生によるサポート活動】＜提言6＞

新型コロナウイルス禍以前は、縦割り集団を活用した「歌声サポート（上級生が新1年生に校歌を教える活動）」「T-UPサポート（保健体育の授業で行う体幹トレーニングを教える活動）」等、様々なサポート活動を行っていた。しかし、昨年度同様新型コロナウイルス感染症の影響により、「歌声サポート」は実施することは叶わなかった。

5月に行う体育祭は、縦割り集団での活動が主となるため、全校でピア・サポートを意識して『心を込めて聴く・話す』活動を実践する絶好の機会である。その場を十分に活かすために、年度当初に、新1年生と在校生との関わりは必要である。そこで、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら「T-UPサポート」活動は行うこととなった。しかし、それだけでは、1年生が2年、3年それぞれと関わるできない。（3学年同時に行う、1年生に2年も3年もそれぞれサポートする時間を取る、などの意見も出たが、どちらも困難であると見送った。）そこで、本年度は「T-UPサポート」に加え「みんジャン（長縄跳び）サポート」というものを行うことにした。

「T-UPサポート」では、3年生、1年生ともに体育館で4クラス（1年生3年共に2クラスずつ）、武道場で2クラス（1年生3年生共に1クラスずつ）に振り分け、それぞれ4～5名の小集団をつくり、全員マスク着用の中で実施した。3年生にとっては、最上級生として最初の活動でもあり、緊張しながらも一人一人が先輩として、緊張した1年生に優しく声をかけている姿が多く見られた。1年生も徐々に笑顔が現れ、最後にはマスク越しに談笑する様子もあった。

「みんジャン（長縄跳び）サポート」では、2年生、1年生ともにクラスごとグラウンドで長縄跳びについて、縄の回し方から跳び方まで、慣れないながらも丁寧に教える姿が見られた。「みんジャン（長縄跳び）」は体育祭の種目にもあるため、このサポート活動を発展させる形で、体育祭の縦割り練習時にも活かされていた。



3 本年度の成果と来年度に向けて

本年度の3年生は、コロナ禍下での入学だったため、従来行われていた「集団で密に関わる活動」の経験が全くできないまま三年間を過ごしてきた。しかし、3年生による「T-UPサポート」だけでなく、2年生も「みんジャン（長縄跳び）サポート」活動を行ったことにより、体育祭に始まる縦割り活動をスムーズに行うことができ、「高洲中学校の一員」として仲間と関わる意識が持てたのではないかと思う。

しかし、コロナ禍の影響で、「仲間と関わる」体験が、従来よりも減っている事実があり、人間関係をうまく構築できない生徒が増えている。そこで、来年度はより『心を込めて聴く・話す』ことを前面に出したピア・サポート活動を行っていききたい。